

# ワークライフバランス

札幌市役所に入庁して育児休業等を取得した先輩職員のエピソードを紹介します。

育休取得  
しました！

平山さん

総務局 改革推進室推進課

## ある一日のタイムスケジュール

- 6:45 起床、朝食づくり、支度
- 7:45 幼稚園に子どもを送り、そのまま出社
- 8:45 **仕事**
- 17:15
- 18:30 夕食、家族団らん
- 19:30 妻が子どもをお風呂に入れている間に家事
- 20:15 子どもの寝かしつけ
- 24:00 自由時間後、就寝



## 育児休業取得を決めたきっかけを教えてください

初めての育児であったため、集中して育児に取り組みたい、少しでも妻の負担を減らしたいという思いから取得を考え始めました。取得にあたっては不安もありましたが、ネガティブな反応は一切なく、上司からも後押ししてもらい取得を決めました。

## どのように仕事と育児を両立させているか教えてください

幼稚園への送迎や育児などは妻と分担しながら行っていますが、仕事量の調整や子ども関係の休暇の取得など、職場の理解・協力のおかげで仕事と育児を両立できているように思えます。子どもの体調不良で急に仕事を休むことが多いため、その日にできる仕事はその日のうちにやってしまうことを意識しています。

産休・育休取得  
しました！

増岡さん

東区役所 市民部地域振興課

## ある一日のタイムスケジュール

- 5:50 3歳息子と共に起床、出勤・保育園等の準備
- 7:30 自身は出社、夫が子を保育園へ
- 8:15 **仕事**
- 16:45 **時差出勤**
- 17:30 自宅に到着後、子の保育園にお迎え(車)
- 18:00 夕食(準備含)、家族団らん、お風呂等
- 21:00 子どもの寝かしつけ(一緒に眠ってしまうことも)
- 22:30 読書・YouTube・ゲーム等趣味の時間後、就寝



## 育児休業取得を決めた時の周囲の反応を教えてください

妊娠中、自身の担当する業務での繁忙期もあったため、妊娠・産休・育休も含め、不安もありましたが、「それ以上に大事なことはないよ」と職場の方から温かい言葉をもらい、みなさんに沢山のサポートをしていただきました。過去に育児休業等を取っていた上司や先輩(男性も含め)もいたことから、体調に関する相談もしやすく、とても協力的でした。

## 育児休業を取得してみた感想

子が大きくなるのは本当にあっという間のため、成長を間近で見ることができ、また赤ちゃんの頃の写真や動画を沢山残せたことは本当に良かったと思います。仕事に復帰する際には、育児休業取得前と制度やシステムが変わっていることもあり、業務についていけない不安もありました。しかし、札幌市職員は産休・育休から復帰する方が多いため、周囲の手助けなども手厚く、安心して復帰できました。

# 多様な働き方の実現へ

札幌市では、ワークライフバランスの実現に向けて、働き方改革の推進や多様な職員が活躍できる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

## 休暇の取得促進

年間20日の年次有給休暇が毎年付与され、1日単位の取得のほか、半日単位、1時間単位での取得も可能です。そのほか、年間5日の夏季休暇が毎年付与され、1日単位の取得のほか、半日単位での取得も可能です。

年次有給休暇の平均取得日数:15.4日/年  
夏季休暇の平均取得日数:4.7日/年

※令和4年度実績 ※教員も含めた全職員のデータ

## 子育てとの両立支援

育児休業や部分休業など、安心して子育てができる各種制度の充実化・職場づくりに取り組んでいます。

女性 育休取得率:100%  
平均取得日数:479.4日

男性 育休取得率:38.2%  
平均取得日数:72.1日

※令和4年度実績 ※教員も含めた全職員のデータ

## 時間外勤務の縮減

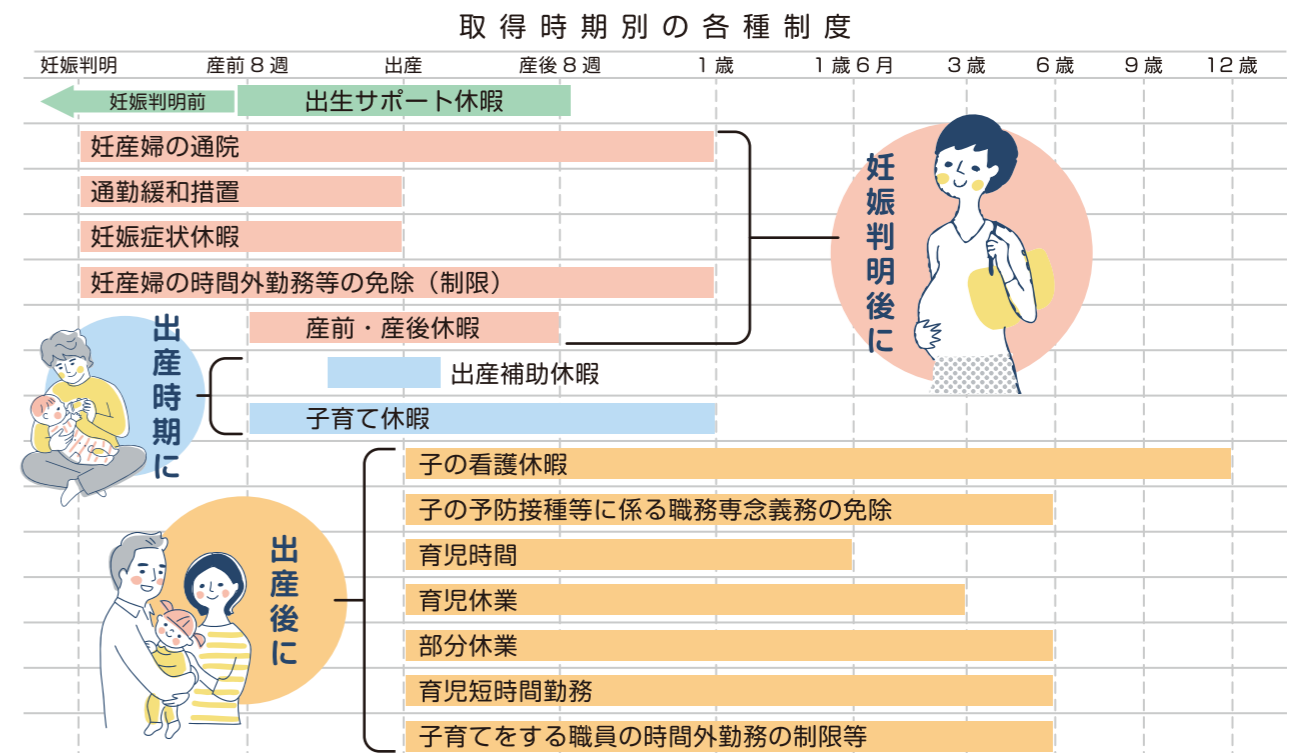
時間外勤務の上限時間を定め、その範囲内で、必要最小限のものとなるよう計画的・効率的な職場運営に努めています。また、ノー残業デーを定めるなど、定時退庁に努めています。

## 時差出勤制度

15分単位で最大1時間半、正規の勤務時間を繰り下げ、または繰り上げることができます。自身のライフスタイルに合わせて、柔軟な勤務が可能です。

例) 7:45~16:15、9:45~18:15など

## 妊娠・出産・子育てに関する各種制度



※各種制度は令和5年度時点の内容です。